



水道 GLP 認定証授与式（1月16日）

水道 GLP 認定委員会で認定及び認定の更新が決定した環境未来（株）（認定番号：JWWA-GLP092）の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



第670回抄録委員会（1月18日）

本誌4月号に掲載する外国文献の抄録内容および海外文献目録の和文題名について審議した。

平成24年度水道施設管理技士資格試験（1月20日）

平成24年度水道（浄水・管路）施設管理技士1級及び2級の資格試験を全国7会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で実施し、774名が受験した。

第914回会誌編集委員会（1月23日）

本誌6月号の編集方針、投稿原稿の審査並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第143回水道事業管理者協議会（1月28日）

厚生労働省水道課の日置課長補佐より「新水道ビジョン」についての講演の後、本協議会メンバー都市の徳島市（久米水道事業管理者）より、「水道料金改定までのあゆみ～徳島市水道施設耐震化に資本投資～」と題した情報提供があった。



続いて、メンバー都市から提案された2題の情報交換事項、「水源上流域における水質汚濁防止」及び「平成23年度の消費税法一部改正への対応」について、それぞれ情報交換を行った。

第273回理事会（1月29日）

本協会の尾崎専務理事が議長となり、はじめに報告事項①「平成25年度水道関係予算」について、東日本大震災関係及び補助金は、厚生労働省の石飛水道課長より、起債関係は総務省公営企業経営室の清水日課長補佐よりそれぞれ説明があった。続いて、報告事項②「平成25年度上水道関係予算の確保に関する要望活動」、報告事項③「東日本大震災における復興支援」、報告事項④「地震等緊急時対応の手引きの改訂」、報告事項⑤「平成25年度国際研修計画」について、それぞれ事務局より報告があった。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「日本水道協会第81回総会会員提出問題の処理」、第2号議案「2018年 IWA 世界会議の東京招致」、第3号議案「公益社団法人日本水道協会第82回総会の開催」、第4号議案「公益社団法人への移行に伴う規程類の制定等」、第5号議案「平成24年度日本水道協会会計予算の補正」、第6号議案「平成25年度日本水道協会会計予算」、第7号議案「平成26年度全国会議開催地方支部の入替」の7件が事務局より上程され、審議の結果、原案のとおり決定した。

会議終了後、第1号議案の議決に基づき、出席理事全員により主要国会議員及び関係各省に対し陳情を行った。



水道技術者専門別研修会（水質管理部門）（1月28日～2月1日）

90名の参加を得て「水質概論（衛生管理含む）」「水質管理（原水・浄水）」「水質管理（送・配水）」「精度管理と成績表示」「理化学試験（一般性状・非金属・金属）」「理化学試験（生物試験・微生物試験）」「機器分析（IC、原子吸光、ICP、ICP/MS）」「機器分析（GC、GC/MS、HPLC、LC/MS）」「理化学試験（無機物・有機物）」の研修を実施し、最終日に自由討議を行った。

浄水場等設備技術実務研修会（第7回：1月29日～2月1日）

浄水場・給水所等の運転管理に携わる技術系職員の方々15名の参加を得て、東京都水道局 研修・開発センターの訓練用設備を利用して、実際にポンプの分解組立等、機器類の運転・操作及び浄水処理について実習するとともに設備機器の保守・管理の実務について、研修を実施した。

第74回水道 GLP 認定委員会（1月30日）

水道 GLP 認定について、横浜市水道局（申請番号：JWWA-GLP 093）が新規に審議され決定された。また、認定更新検査機関として旭川市水道局（認定番号：JWWA-GLP042、1月27日付）、（財）岡山県健康づくり財団（認定番号：JWWA-GLP043、1月27日付）が、認定維持検査機関として佐賀東部水道企業団（認定番号：JWWA-GLP70）、北千葉広域水道企業団（認定番号：JWWA-GLP71）が、更新後の認定維持検査機関として京都市上下水道局（認定番号：JWWA-GLP19）が、それぞれ審議され決定された。

第9回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（2月4日）

① WG 5（規格の適用）の動向、② WG 6（アセット・マネジメント）の動向、③ WG 7（危機管理）の動向、④ WG 9（水質事故検出のガイダンス）の動向について、それぞれ報告を行った。

その後、「本委員会の今後の運営方針等について」議論を行った。

水道技術者専門別研修会（導・送・配水施設の設計施工と維持管理部門）（2月4日～8日）

92名の参加を得て「水運用計画」「導送配水施設の整備」「送配水の耐震化」「管路（導送配水）の設計」「管路の設計演習・施工方法」「施設（構造物）の設計」「送配水施設の維持管理」「漏水防止」について研修を実施した。